

団体名	性教育団体「いのちの授業」ここいく		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> いのちのつながりフェス事業		
事業概要	フェスティバルを通して 一人一人違って大丈夫、自分らしく生きていいこと いのちのつながりを感じ、楽しく性や人権を考えるきっかけをつくる		
事業費総額(確定)	529,280 円	助成金額(確定)	300,000 円
主な経費内容	出演料、交通費、出演者宿泊費、会場使用料、チラシ印刷・デザイン料、舞台設営費、看板製作費、ブルーシートなど消耗品		

●実施内容

■いのちのつながりフェス開催

命がどうやって誕生するかなどを通じて、一人一人違って当たり前であることを包括的性教育(人権教育)を通じて学び、誰もがかけがえのない命であることを知り感じられる機会を提供。

① 日時:10月28日(土)18:00~20:00

場所:桜体育館

参加者:78人

内容:「子どもバンド Babyboom&たまっ子座ライブ」と「いのちの樹形図づくり」
・コロナ禍によって生活が一変した中で懸命に生きる子どもの気持ちを子どもバンド Babyboom が歌で表現。

・いのちの樹形図では、たくさんのいのちのバトンを引き継いで「今、自分の番を生きていること」を体感的に感じてもらった。

② 日時:11月4日(土)10:00~15:00

場所:各務原市民公園

参加者:180人

内容:「いのちの授業体験スタンプラリー」と「ワンオーガニックマルシェ」

・いのちの始まりのお話、出産のお話、成長する体の仕組みのお話、性の多様性と心のお話、食育のお話の5つの「いのちの授業」が設けられ、各ブース7回の授業を20分ずつ同時多発的に行いました。「いのちの授業」の参加者にはスタンプラリーの用紙が配られ、3つ以上のブースで授業を受けた参加者にはプレゼントが用意された。

・ワンオーガニックマルシェが開催され、身体や環境に配慮した商品を扱う13のブースが場を盛り上げた。

4月	出店者募集・会場使用許可申請
5月	チラシ、チケット作成
6月	後援申請・チラシ印刷
7月	チラシ配布・参加者募集
8月	看板づくり・打合せ
9月	授業制作・練習
10月	樹形図練習・出店者顔合わせ
10月28日	Babyboom ライブ・いのちの樹形図開催
11月4日	いのちの授業・ワンオーガニックマルシェ開催

●事業の成果

・性を知ることとは人権を学ぶ生き方につながるので、「性教育」のイメージを覆すような種を蒔くことが出来ました。「毎年やって欲しい」とのメールが届きました。

・Babyboom のライブといのちの樹形図は、今を大切に生きることを伝えることができた。そして、子どもたちの本音を歌で聞くことで、いかに社会が大人主導で動いているか、を考える機会を提供できた。

●団体の活動目的・目標

全ての人に対して、いのちの授業や体験活動を行い、自尊感情・自己肯定感を育むことで、生きる力を湧き出させることに寄与することを目的とする。

